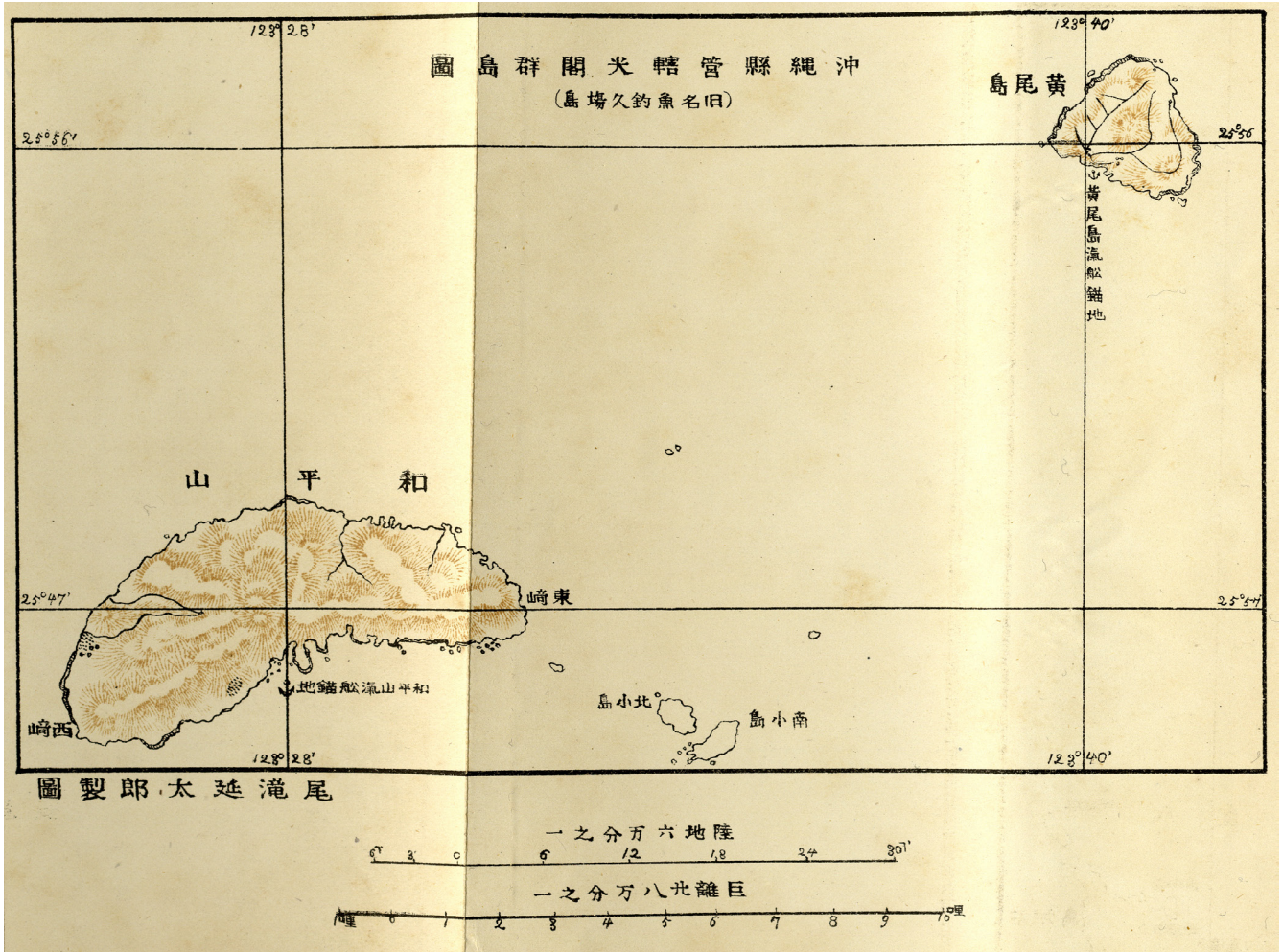


時代区分 III (4) - 尖閣諸島の開拓に関する資料

尖閣諸島の開拓者が作成した地図(汽船錨地入り)

No.42 沖縄県管轄尖閣群島図(旧名魚釣久場島)

報H29/P7 1899年(明治32年)頃



所蔵: 東海大学付属図書館清水図書館

資料概要

1899年(明治32年)頃に作製されたと考えられる尖閣諸島の略図。

「沖縄県管轄尖閣群島図」と尖閣諸島が沖縄県の行政区域のなかに含まれていることを明示している。本図の製作者である尾滝延太郎は、尖閣諸島の開拓で有名な古賀辰四郎の甥であり、当時、同諸島開拓の監督にあっていた。図中、魚釣島(和山)及び久場島(黄尾島)にそれぞれ汽船錨泊地が記されていることから、この時期すでに両島へ蒸気船の寄港があったことが窺える。

内容見本

沖縄県管轄尖閣群島図
(旧名魚釣久場島)

黄尾島 黄尾島汽船錨地

和山 和山汽船錨地

北小島

南小島

尾滝延太郎製圖

作成年月日	1899年(明治32年)(地図) 1900年(明治33年)5月24日(収録誌)
編著者	尾滝延太郎・横山又次郎
発行者	東京地学協会
収録誌	「南島通信」『地学雑誌』第12集第137巻
言語	日本語
媒体種別	紙
公開有無	有
所蔵機関	東海大学付属図書館清水図書館
利用方法	東海大学付属図書館清水図書館で閲覧を行う